

令和元年（平成31年）中における救急・救助業務の概要

令和元年（平成31年）中の救急出場件数は、2,114件で前年の2,146件に比べ32件の減となっています。1日の出場件数は約5.8件、約4.1時間に1回の割合で出場したことになります。

搬送人員は1,913人（前年1,934人）で、小美玉市内の人口に照らすと、約26.6人に1人が救急車で医療機関に搬送されたこととなります。

事故種別構成比は、急病が最も多く1,417件で全体の約67.0%を占め、次いで一般負傷の295件、以下交通事故、転院搬送の順となっており、うち約52.6%は軽症（入院の必要なし）となっています。

事故種別出場件数及び搬送人員の推移

区分	事故種別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			合計
												転院搬送	医師搬送	他	
平成28年	出場件数	18		1	225	27	4	247	16	28	1,312	103		38	2,019
	搬送人員	1			219	26	4	228	10	12	1,195		105		1,800
平成29年	出場件数	26		2	206	36	7	290	7	26	1,362	100		37	2,099
	搬送人員	5		1	189	35	7	270	6	17	1,233		100		1,863
平成30年	出場件数	21		2	207	38	6	243	12	25	1,446	109	1	36	2,146
	搬送人員	4		0	214	38	6	230	9	16	1,311		106		1,934
令和元年	出場件数	20	2		165	36	8	295	8	15	1,417	110		38	2,114
	搬送人員		1		178	37	8	269	6	11	1,294		109		1,913

事故種別救助出場件数・活動件数調

事故種別 件数区分	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	爆発事故	その他 の事故	計
	建物	建物以外									
出場件数	15		12		1	2	3			15	48
活動件数	1		6			1	2			2	12

*活動件数とは、出場件数のうち、消防機関が何らかの救助活動を行った件数をいう。

事故種別救助人員及び車両別搬送人員調

事故種別 救助人員 搬送車両区分	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	爆発事故	その他 の事故	計
	建物	建物以外									
救助人員			14			2	1			2	19
搬送車 両等 の内訳	救急自動車		13			1	1			1	16
	ヘリコプター										
	消防機関その他の 車両等										
	消防機関以外 の車両等		1			1				1	3
	計										

*救助人員には、消防機関と他機関が共同して救助活動中、他機関が救助した人員を含めたものいう。

事故種別・救助発生場所別出場状況

事故種別 発生場所	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	爆発事故	その他 の事故	計
	建物	建物以外									
屋内	住居	3					3			5	11
	その他の屋内	12				2				1	15
屋外	道路：高速道路										
	道路：高速道路 その他の道路		11		1					2	14
	水面：内 水面										
	水面：外 水面										
	山岳										
	その他の屋外			1							7
地下											
その他											
計	15		12		1	2	3			15	48

*内水面とは、河川・湖沼・池・プール等における水上又は水中(ただし河川敷やプール・シャワー等は含めない。)をいう。

*外水面とは、内水面以外の水上又は水中をいう。

*地下とは、地盤下に独立して設けられた地下街・地下道・地下鉄プラットフォーム等をいい、建物等建築物の地階は含まない。